

2024年12月
従来の健康保険証の
新規発行が停止になりました
トラブルや情報漏洩が不安

使いたくない
マイナ保険証だけではなく
これまでの保険証だって
ずっと使わせて！
という声が広がっています
この声、政府にとどけよう！

両方とも
使えたら
いいよね

ずっと使いたかった保険証も

1 伸びない利用率

マイナ保険証の利用率は、**2025年1月時点**で**25%**。従来の保険証の新規発行が停止になってもなお、4人に3人がマイナ保険証を使っていません。

2 解除する人が増加中

マイナンバーカードから健康保険証の利用登録を解除しようとする動きが広がっています。
2025年1月時点で**5万8000件**にも！マイナ保険証への不安は払拭されていません。

3 一本化で受診をためらう可能性

マイナ保険証に一本化されてしまえば、マイナ保険証の取得や更新を思うようにできない高齢の方などが、病院への受診をためらう可能性も。
だれでも安心して医療が受けられる環境をつくるのが国の義務です。



マイナ保険証、
便利だという声も聞くよ？



マイナンバーカード取得は任意。
持ちたくない人もいますよ。
だからマイナ保険証「も」、
従来の保険証「も」、使える
ようにしてほしいんだ！

署名にご協力ください

請願事項が変わりました。過去に署名していただいた人も署名できます。

裏面を
チェック



従来の健康保険証を 使い続けられるように してください

請願署名

年 月 日

多くの国民の従来の保険証を残してほしいという強い願いを無視して、政府は2024年12月2日、従来の健康保険証の新規発行を停止しました。マイナンバーカードの取得、利用、管理などに困難を抱える当事者や介護・福祉の現場からは、不安や懸念の声が上がっています。医療現場では「資格無効」や誤った負担割合が表示される、機器のトラブルが頻発するなど、マイナンバーカードによる受診でのトラブルも続いています。マイナ保険証に対する国民の不安はまったく払拭されていません。

すべての国民に、保険者の責任で漏れや遅れなく自動で健康保険証が届く体制は、いつでも、どこでも、だれでも安心して医療が受けられる国民皆保険制度の根幹です。慣れ親しんだ従来の健康保険証の新規発行を再開し、これからも利用を継続できるようにすべきです。

請願事項

従来の健康保険証を使い続けられるようにしてください

※氏名・住所の欄に「同上」「〃」は不可、住所は番地までご記入願います。

氏 名	住 所
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県

※この署名は、憲法16条で保障された請願権にもとづいて行うもので、国会請願以外の目的では使用しません。
※鉛筆や「文字が消せるボールペン」でのご記入はご遠慮ください。

私の
ひとこと

中央社保協・医療団体連絡会議(全国保険医団体連合会・全日本民主医療機関連合会・日本医療福祉生活協同組合連合会・新医協・日本医療労働組合連合会)

取り扱い団体：
中央社保協・医療団体連絡会議

新医協(新日本医師協会)
〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-10-2 日高ビル405
TEL 03-3988-8387 FAX 03-3983-6165